

京都花山天文台の将来を考える会令和3年度総会

日時：令和3年6月20日（日）13時30分～14時

場所：京都大学理学部4号館（インターネット使った会議システム）

議事

1. （一財）花山宇宙文化財団役員等の変更
2. 令和2年度業報告書
3. クラウドファンディングの実施結果
4. 花山天文台付近バス停新設の件
5. 令和3年度事業計画

以上

(一財)花山宇宙文化財団役員等の変更

1. 理事

理事は本年6月の定時評議員会（6月8日）をもって任期満了となった。財団発足して3年目に入るが、引続き天文台を取り巻く環境は厳しく、財団の経営課題も多く抱えている。

このような状況の中、同日開催の定時評議員会にて現理事を再任し、次期理事に就任していただいた。

位高光司：株式会社 KI 経営研究所代表取締役、京都経営者協会元会長	(再任)
尾池和夫：静岡県公立大学法人静岡県立大学学長	(再任)
岡村 勝：株式会社ヒーロー 代表取締役	(再任)
荻野 司：合同会社ゼロワン研究所 代表	(再任)
北川聡一：株式会社文化工学研究所 専務取締役	(再任)
柴田一成：京都大学名誉教授、前京都大学理学研究科附属天文台長	(再任)
西 亨：株式会社阪南コーポレーション 執行役員・副社長	(再任)
野上大作：京都大学准教授	(再任)
松田和典：M・Gマーケティング研究所所長	(再任)

任期は2年間、令和5年度定時評議員会（令和5年6月予定）までとする。

2. 理事長

前理事長の尾池先生が、今年4月1日に静岡県公立大学法人静岡県立大学の理事長・学長に就任され、当財団の理事長を6月8日に退任された。同日に臨時理事会を開催し、後任の理事長には柴田先生に就任いただいた。

3. 常務理事・事務局長

同じく臨時理事会にて、常務理事には西理事が留任、事務局長には石井さんが留任することとなった。

4. 特別参与・参与

長尾先生には特別参与にご就任いただいていたのですが、先日ご逝去されました。生前のご尽力に感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

なお、特別参与には、山極壽一先生(総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長)に就任いただくことになりました。

令和2年度 事業報告

(令和2年(2020年)4月1日 ～ 令和3年(2021年)3月31日)

I. 概況

当法人は、任意団体「京都花山天文台の将来を考える会」を前身に、株式会社タダノ（代表取締役社長多田野宏一）を設立者として、平成31年4月1日に「一般財団法人花山宇宙文化財団」として設立された。当法人の目的は、宇宙と自然に関する学術、研究、教育及び生涯教育の普及に寄与することとし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 天文台、望遠鏡及びその歴史的資料に関する研究、開発及び技術情報の提供
- (2) 研究会、講演会、教育研修、講座、セミナー、各種イベント等当法人の目的に資する企画の運営、開催及び講師派遣
- (3) ベンチャー企業に対する技術情報等の提供及び各種支援
- (4) インキュベーション施設、四次元宇宙シアター、プラネタリウム及び各種研究施設の企画、賃貸、管理及び運営
- (5) 出版物、印刷物及びウェブサイトの企画、制作、発行及び販売
- (6) 各種情報の収集、分析、処理及び提供
- (7) 宿泊施設、駐車施設及び飲食店の企画、管理及び運営
- (8) 物品販売業
- (9) その他当法人の目的を達成するために必要な事業

設立初年度は、将来を考える会の事業と財産を引き継ぐとともに、法人としての基盤を整えるべく、体制の構築や諸規則の整備等を推進した。設立2年目に入り順調な事業計画を作成したが、京都大学の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に準拠し、大きく計画変更をせざるを得なくなり、10月29日開催の第2回理事会において事業計画の変更が承認された。

具体的事業については、講演会を11月8日に「花山天文台の将来を考える会」総会に合わせてオンラインで開催、毎年好評の金曜天文講話をオンラインで会員限定トライアルを3回実施した上で10回開催、今年度より土日一般公開を見学会・観望会として計画したが、11月に、土日公開の3回、観望会1回の実施にとどまった。刊行物として、会報2冊に加え、好評を博していた京都新聞題字下コラム「星をみつめて」を京都新聞出版センターの協力を得て12月に単行本として発行した。

また、例年花山天文台で実施している音楽家喜多郎氏による花山天文台応援コンサートは、今年度は中止とし、これまでを振り返り将来へのメッセージとなる内容のオンライン発信を実施した。

新規事業としては、花山天文台応援クラウドファンディングを国内及び海外で実施するとともに、公共交通機関での花山天文台へのアクセスが便利となるよう東山ドライブウェイ上にバス停を設置する計画を推進した。

II. 実施事業の概要

1. 講演会（「花山天文台の将来を考える会」総会に合わせて開催）

開催日 令和2年11月8日 参加者 約100名
 会場 オンライン開催
 講演テーマ・講演者
 「太陽・宇宙電磁流体プラズマ現象の研究と私」柴田一成（京都大学名誉教授）

2. 金曜天文講話

第1回～第6回中止

第7回～第16回オンライン開催

	開催日	講演テーマ	講師	参加者
第7回	8月21日	宇宙線の謎	川中宣太	65名
第8回	8月28日	明月記と超新星	柴田一成	87名
第9回	10月23日	歴史文献から探る過去の太陽活動	磯部洋明	83名
第10回	11月6日	広がる太陽系-はやぶさ2のワズ彗星	有松亘	46名
第11回	11月20日	赤外線で見える銀河の真ん中	長田哲也	53名
第12回	12月4日	宇宙の果の銀河を探す	太田耕司	41名
第13回	12月18日	せいめい望遠鏡で見るブラックホール活動	野上大作	43名
第14回	1月15日	アインシュタインの夢：重力の謎とひも理論	杉本茂樹	63名
第15回	1月29日	宇宙最大の爆発・ガンマ線バースト	川中宣太	71名
第16回	2月12日	太陽フレアと生命・人間への影響	柴田一成	65名

会員限定オンライントライアル

第1回 6月26日 生命を宿す惑星の条件 佐々木貴教 約60名
 第2回 7月10日 太陽活動を地球 浅井歩 約50名
 第3回 7月31日 せいめい望遠鏡で見る恒星スーパーフレア 野上大作 約50名

3. 花山天文台土日一般公開

5月から、土曜日と日曜日の昼に一般公開を始め、5～12月には月1回、土曜日の夜に星

空観望会も従来の基金観望会として実施することとしていたが、ほとんど中止することとし、土日公開については、11月14日(土)15日(日)29日(日)の3回、観望会については、と11月21日(土)の1回の実施にとどまった。

4. 刊行物

1) 会報

第5号 発行日 令和2年4月15日 部数 1000部

第6号 発行日 令和2年9月30日 部数 1000部

2) 京都新聞・連載コラムへの寄稿(京都花山天文台から「星を見つめて」)及び出版

コラム記事(日刊)354回掲載(令和元年5月1日～令和2年4月30日)

拡大版記事(月2回)24回掲載(令和元年5月～令和2年4月)

単行本 「星を見つめて 京都花山天文台から」2020年12月14日京都新聞出版センターより

5. 物販

1) 直接販売

イベントがほとんど中止になり、ほぼ実施できなかった。

2) 委託販売

下記法人と委託販売契約を結び販売を継続中。

① 学校法人京都精華大学・京都国際マンガミュージアム

② (株)アクティブケイ・京都大学博物館ショップ“ミュゼップ”

6. クラウドファンディング

花山天文台を天文・宇宙教育の拠点として次世代に残していくために、花山天文台支援のためのクラウドファンディングを実施した。

1) 国内版 7月28日～10月27日 6,227,000円(手数料除いて4,978,960円)

2) 海外版 11月24日～1月23日 1,376,611円(手数料除いて1,245,827円)

7. バス停新設の検討

現在、公共交通機関による花山天文台へのアクセスについては、京阪バス將軍塚バス停から徒歩30分程度を要する状況である。東山ドライブウェイ上にバス停を新設することにより、徒歩10分程度でアクセスが可能となる。隣接地の阿含宗や京阪バスの協力を得て、行政(京都市東部土木事務所、道路明示課、風致保全課、山科警察)と協議を進めてきた。

Ⅲ. 評議員および役員等に関する事項（令和3年3月31日現在）

評議員・理事・監事・事務局長

役職	氏名	肩書	就任年月日
評議員	稲盛豊実	公益財団法人 稲盛財団 元 専務理事	平成 31 年 4 月 1 日
評議員	佐藤文隆	京都大学 名誉教授	平成 31 年 4 月 1 日
評議員(設立者)	多田野宏一	株式会社 タダノ 代表取締役社長	平成 31 年 4 月 1 日
評議員	長田哲也	京都大学 教授	平成 31 年 4 月 1 日
評議員	藤原洋	株式会社 ブロードバンド タワー 代表取締役会長兼 社長 CEO	平成 31 年 4 月 1 日
評議員	松本紘	国立研究開発法人 理化学研究所 理事長、 公益財団法人 国際高等研究所 所長、 京都大学 前総長	平成 31 年 4 月 1 日
評議員	村山昇作	株式会社 iPS ポータル 代表取締役会長、 一般社団法人 天体望遠鏡 博物館 代表理事	平成 31 年 4 月 1 日
評議員	冷泉為人	公益財団法人 冷泉家時雨亭文庫 理事長、 京都美術工芸大学 前学長	平成 31 年 4 月 1 日
理事長(代表理事)	尾池和夫	京都芸術大学 学長、 京都大学 元総長	平成 31 年 4 月 1 日
常務理事(業務執行理事)	西亨	株式会社 阪南コーポレー ション 執行役員副社長	平成 31 年 4 月 1 日
理事	位高光司	株式会社 KI 経営研究所 代表取締役、 京都経営者協会 元会長、 日新電機株式会社 元会長	平成 31 年 4 月 1 日
理事	岡村勝	株式会社 ヒーロー 代表取締役	平成 31 年 4 月 1 日

理事	荻野司	合同会社 ゼロワン研究所 代表	平成 31 年 4 月 1 日
理事	北川聡一	株式会社 文化工学研究所 専務取締役、	平成 31 年 4 月 1 日
理事	柴田一成	京都大学 名誉教授	平成 31 年 4 月 1 日
理事	野上大作	京都大学 准教授	平成 31 年 4 月 1 日
理事	松田和典	M・G マーケティング研究所 所長	平成 31 年 4 月 1 日
監事	向井苑生	京都情報大学院大学 教授	令和元年 11 月 25 日
監事	吉田晴夫	住友銀行 元四国法人部次長	平成 31 年 4 月 1 日
事務局長	石井貴子	京都大学研究員	平成 31 年 4 月 1 日

参与

役職	氏名	肩書	就任年月日
特別参与	長尾真	京都大学 元総長	平成 31 年 4 月 1 日
参与	大野照文	三重県立博物館館長、 京都大学名誉教授	平成 31 年 4 月 1 日
参与	岡崎甚幸	武庫川女子大学教授、 京都大学名誉教授	平成 31 年 4 月 1 日
参与	小崎哲哉	京都芸術大学大学院教授	平成 31 年 4 月 1 日
参与	喜多郎	音楽家	平成 31 年 4 月 1 日
参与	小山勝二	京都大学名誉教授	平成 31 年 4 月 1 日
参与	笹岡隆甫	未生流笹岡家元	平成 31 年 4 月 1 日
参与	鈴鹿可奈子	株式会社 聖護院八ッ橋総 本店 専務取締役	平成 31 年 4 月 1 日
参与	竹宮恵子	漫画家、 元京都精華大学学長	平成 31 年 4 月 1 日
参与	田原博明	京都府人事委員会委員長、 元京都府教育委員会教育長	平成 31 年 4 月 1 日
参与	津田真	株式会社丹青社 チーフプ ランニングディレクター	平成 31 年 4 月 1 日
参与	西靖雄	弁護士(花山宇宙文化財団 顧問弁護士)	令和 2 年 2 月 25 日

参与	長谷川和子	株式会社 ケアソシエイツ代表	平成 31 年 4 月 1 日
参与	長谷川靖子	京都コンピュータ学院 学院長	平成 31 年 4 月 1 日
参与	丸川修	京都府立図書館館長	平成 31 年 4 月 1 日
参与	山崎直子	宇宙飛行士	平成 31 年 4 月 1 日
参与	わたなべ邦子	京都府議会議員	平成 31 年 4 月 1 日

IV. 職員に関する事項（令和 3 年 3 月 31 日現在）

事務局長 1 名、（雇用関係にある）事務局員 4 名。

V. 会議・会合

1. 評議員会・理事会

1) 令和 2 年度第 1 回理事会

開催日 令和 2 年 6 月 8 日 全員同意による「決議の省略」（書面によるみなし決議）

令和 2 年 5 月 26 日「報告の省略」（書面によるみなし報告）

第 1 号議案 令和元年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

第 2 号議案 令和 2 年度第 1 回評議員会の招集について

報告 1. 令和 2 年度事業計画の状況について

報告 2. 職務執行状況の報告

2) 令和 2 年度第 1 回評議員会

開催日 令和 2 年 6 月 19 日 全員同意による「決議の省略」（書面によるみなし決議）

第 1 号議案 令和元年度事業報告及び収支決算書の承認を求める件

報告 1. 令和元年度第 3 回理事会報告

報告 2. 令和 2 年度第 1 回理事会報告

3) 令和 2 年度臨時理事会

開催日 令和 2 年 7 月 29 日（全員同意による決議の省略（書面によるみなし決議））

第 1 号議案 令和 2 年度臨時評議員会の招集について（定款変更のための）

4) 令和 2 年度臨時評議員会

開催日 令和 2 年 8 月 21 日（全員同意による決議の省略（書面によるみなし決議））

第 1 号議案 定款の変更の承認（財団名英文表記の追記、理事会議事録署名人の変更、理事会・評議員会に遠隔地からの参加と議決権行使を可能とする項目を追加）

5) 令和 2 年度第 2 回理事会

開催日 令和 2 年 10 月 29 日 出席理事 8 名 監事 2 名

会 場 京都大学理学部 4 号館 104 号室（遠隔地からの参加）

第 1 号議案 令和 2 年度事業計画書・正味財産計算書（予算）の変更の承認を求める件

- 報告1 花山天文台付近バス停新設の件
報告2 職務執行状況の報告（令和2年度第1回）
報告3 その他（クラウドファンディング、花山天文台応援：喜多郎さんとふりかえる～宇宙と音楽の対話～、「星をみつめて」の発行、京都葵ライオンズクラブからの天文台支援について）

6) 令和2年度第3回理事会

- 開催日 令和3年3月11日 出席理事9名 監事2名
会場 京都大学理学部4号館104号室（遠隔地からの参加）
第1号議案 令和3年度事業計画書・正味財産増減計算書(予算)の承認を求める件
報告1 花山天文台クラウドファンディング実施結果
報告2 花山天文台付近バス停新設の件
報告3 職務執行状況の報告（令和2年度第2回）
報告4 その他（「星をみつめて」の出版、「うちゅうぼん」の制作、京大天文台基金報告書）

2. 令和2年度京都花山天文台の将来を考える会・総会

- 開催日：令和2年11月8日（日）13時30分～13時50分
場所：オンライン開催 出席会員約40名
議案1. 令和元年度事業報告
議案2. 令和2年度事業計画（変更後）
報告1 花山天文台付近バス停新設の件

3. 令和2年度参与会

- 日時：令和2年11月8日（日）13時～13時30分
場所：京都大学理学部4号館（遠隔会議方式）
議案1. 令和元年度事業報告及び収支決算書
議案2. 令和2年度事業計画書・正味財産増減計算書（変更後）
報告1 花山天文台付近バス停新設の件

VI. 会員に関する状況（令和3年2月10日現在）

賛助会員21名、一般会員240名。

VII. その他報告事項

1. 登記事項

主たる事務所 京都市左京区吉田河原町1-4番地公益財団法人京都技術科学センター内B
2-2号室 令和2年4月1日移転、令和2年4月1日登記

2. 定款変更

(1) (名称) 第1条

「英文名 Kwasan Astro-Culture Foundation」を追加

(2) (評議員会決議) 第21条

「3. 一部の評議員が遠隔地に所在する等の事情により、評議員会開催場所に赴くことができない場合、電話会議等の形で各評議員の音声がお互いに即時に伝わり、適時的確な意見表明ができる場合には、この評議員は有効な議決権を行使できる。」を追加

(3) (理事会決議) 第36条

「3. 一部の評議員が遠隔地に所在する等の事情により、理事会開催場所に赴くことができない場合、電話会議等の形で各理事の音声がお互いに即時に伝わり、適時的確な意見表明ができる場合には、この理事は有効な議決権を行使できる。」を追加

(4) (理事会議事録) 第39条

議事録の署名について出席した理事を理事長に変更し「出席した理事長及び監事は、これに署名または記名押印する」とする。

(附属明細書の作成について)

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年5月
一般財団法人 花山宇宙文化財団

議事3 花山天文台支援のためのクラウドファンディング 実施結果

国内版

・クラウドファンディングの名称、種類

花山天文台応援クラウドファンディング「91年の歴史を持つ京都大学花山天文台を
次世代の天文・宇宙文化教育の拠点にしたい」

プラットフォーム： THE KYOTO crowdfunding

種類： 実行確約（All in）型

（目標金額に到達しない場合でもプロジェクトの実施及び商品の提供が行われる。）

・目的

京都大学花山天文台の運営支援・アウトリーチ活動支援

・リターン返送に関わる費用をのぞいて集まった資金の使い道

花山天文台見学のための展示、バス停留所などの整備

資金の一部を、飛騨・岡山天文台の活動にも寄附

高齢者・子どもたちが参加しやすい天文台見学コースの整備・安全対策

（手すりの設置、危険な段差の解消）

オンラインイベント充実のための人件費の確保

望遠鏡などの修理・整備

・目標金額

300万、第2目標600万

・期間

2020年7月28日から10月27日

・集まった金額

6,227,000円

・収入

手数料(20%)等を引いた実収入金額 4,978,960円

特別販売分 64,000円

合計 5,042,960円

・支出（概数）

郵送料(人件費込み)35万

グッズ（クリアファイル・えはがき・マグカップ）35万

書籍（うちゅうぼん、星をみつめて）40万

電子化費用等 30万

案内看板および本館展示 35万

天文台基金へ寄附 330万

合計 505万円

国際版

- ・クラウドファンディングの名称、種類

Establishing Kwasan Astro-Culture Center

to preserve the 91-year history of Kwasan Observatory of Kyoto University

プラットフォーム： kickstarter

種類： 目標達成（All or Nothing）型

（目標金額に到達した場合のみ、プロジェクトの実施及び商品の提供が行われる。）

- ・目的

京都大学花山天文台の運営支援・アウトリーチ活動支援

- ・リターン返送に関わる費用をのぞいて集まった資金の使い道

うちゅうぼん製作、

展示、アコモデーション、案内の整備、飛騨・岡山天文台支援

- ・目標金額

100万

- ・期間

2020年11月24日から2021年1月23日

- ・集まった金額

総額 1,376,611円

- ・収入

手数料(9.8%)を引いた実収入金額 1,245,827円

- ・支出(概数)

天文台基金へ寄附 85万

うちゅうぼん英訳 5.5万

送料と発送作業人件費 4.5万

繰越(うちゅうぼん(英語版)作成費) 30万(税引き前)

合計 125万円

議事4 花山天文台付近バス停新設の件

現在、公共交通機関による花山天文台へのアクセスについては、京阪バス將軍塚バス停から徒歩30分程度を要する状況である。東山ドライブウェイ上にバス停を新設することにより、徒歩10分程度でアクセスが可能となる。かねてより、隣接地の阿含宗や京阪バスの協力を得て、行政（京都市東部土木事務所、道路明示課、風致保全課、山科警察等）と協議を進めている。

主な課題は3点。

1. バス乗降時の安全確保のため、道路の段差解消が必要。
2. バス停設置にあたり、当該箇所の境界を確定の上、道路明示が必要。
3. 区画線の変更（ゼブラゾーン、外側線等）について公安委員会の審査が必要。

○主な協議状況は次のとおり。

- ・東部土木事務所と協議(R2.10/15)→道路際L字街渠に縞鋼板を設置する案は不可、U字側溝に蓋をする案で検討のこと。
- ・山科警察と協議(R2.11/11)→U字溝に蓋を設置してフラットにする案を推奨、センターライン移設について府警本部と協議→不要との連絡あり。
- ・阿含宗と協議(R3.1/22)→道路明示について阿含宗から道路明示課に申請済み、5～7月頃確定予定。
- ・東部土木事務所と道路工事、U字溝グレーティング蓋案にて協議(R3.2/3)
- ・2/25 土木事務所より回答、U字溝コンクリート蓋とグレーティング蓋併用案の提示。
- ・コスト削減を考慮して、工事区間の短縮や既製品の使用も含めて再設計。東部土木事務所と再協議（2/25）→了解の回答、同時に警察協議用図面作成依頼
- ・京阪バスと施工業者、費用負担方法について協議(3/4)→京阪バスが施工業者に発注、費用については財団が京阪バスに支払う。
- ・区画線の変更(ゼブラゾーン、外側線等)について警察協議結果を踏まえて図面作成(5/10)。
- ・道路明示の確定、および区画線変更計画の公安委員会審査完了後、速やかに道路法第24条道路工事施行承認の申請、工事実施（約1ヶ月）、完了検査。
- ・バス停の道路法第32条占用申請。
- ・バスのダイヤ改正（9月目途）に合わせてバス停設置。ただし、公安委員会審査が遅れれば間に合わない可能性有り。

参考資料

- ・バス停設置箇所付近写真

東山ドライブウェイ バス停設置箇所



(花山宇宙文化財団 R2年度第3回理事会にて承認済)

令和3年度 事業計画

令和3年(2021年)4月1日～令和4年(2022年)3月31日

I. 基本方針

設立3年目に入り、財団の運営基盤は固まってきた。新型コロナ感染対策等により事業計画に大きな変更が生じてきている。そのような中、更に発展させると共に、将来的には地域住民や観光客の方々が自由に訪れて、天文・宇宙の世界に触れることができる花山天文台の実現を目指していく。そのために次のような目標を設定し、実現を図っていく。

短期的目標 (1～3年)

- (1) 小中高校見学・実習を毎日受け入れ可能な体制を実現する。
- (2) 天体観望会や講演会、勉強会やワークショップ、芸術・文化系イベントを開催する。
- (3) 海外からを含む観光客を引きつける新たな魅力となる。
- (4) 上記を達成するため100人収容可能な講演室と資料室を建設する。

長期的目標 (4～10年)

- (1) 宇宙科学館(天地人ミュージアム[案])の設置を目指す。
- (2) 花山天文台の文化とも融合できるような、先端的ものづくりをテーマにしたイノベーションセンター計画を考えている。
- (3) 星空観察会や野外コンサートなどの各種イベントが開催できる多目的広場の設置も考える。

II. 事業計画

1) 会議・講演会

- ① 定例の評議員会を6月に開催する。
 - ② 定例の理事会を5月、11月、3月に開催する。
 - ③ 臨時の評議員会・理事会を必要に応じて開催する。
 - ④ 参与会を秋ごろに天文台イベントに合わせて開催する。
 - ⑤ 講演会を「花山天文台の将来を考える会」総会に合せて開催する(6月予定)。
- なお、開催方式は、新型コロナ感染対策状況を鑑みてオンライン開催を主体とする。

2) 金曜天文講話

最新の天文学を天文学者が一般の人を対象に分かり易く講義する。4年間に亘り開催し、毎年好評を博してきており、継続の希望が多く、メイン事業となりつつある。

5月から来年1月まで、16回の開催を計画する。

前期：8回

後期：8回

場所 Zoomによるオンライン開催

なお、新型コロナ感染対策状況により、キャンパスプラザ京都での開催も検討する。

3) 会報

京都花山天文台の将来を考える会の会報として既に7回発行したが、同じ体裁で年2回の編集・発行を行い、情報発信に努める。

発行時期 4月、10月

内容 A4判、カラー、16頁、1000部程度

4) 花山天文台土日公開

新型コロナ感染対策を実施したうえで、事前申込限定で、土曜日と日曜日の昼に公開を実施する。また、月に1回、土曜日の夜に星空観望会も従来の基金観望会として実施する。なお、新型コロナ感染対策状況により開催の可否を検討する。

5) 花山天文台応援野外コンサート

世界的な音楽家である喜多郎氏を招いて花山天文台応援野外コンサートを実施する。なお、新型コロナ感染対策状況により開催の可否・方法を検討する。

開催日 10月16日(土)

場所 花山天文台

6) 天文台グッズの販売

引き続き運営のサポート手段と位置付けてグッズの販売を継続する。対面での販売機会が激減していることから、通信販売の促進について検討する。

7) 天文台関連イベント

天体観望会や講演会を花山天文台・宇宙落語会等と協力して適宜計画し、開催する。

8) バス停の設置

花山天文台への公共交通機関によるアクセスの利便性を高めるため、京阪バス等関係箇所と協議して、バス停を秋ごろに設置する。

9) 資金集め

昨年度はクラウドファンディングを実施したが、ファンドレイジング等の検討を実施する。

以上

花山天文台整備 次世代へ

宇宙文化財団 ネットで300万円募る

案内板やバス停留計画

京都大の花山天文台(山科区)を後世に伝えるため、同天文台を支援する花山宇宙文化財団は、インターネットで資金を募るクラウドファンディング(CF)を始めた。「アマチュア天文家の聖地」と呼ばれてきた同天文台を次世代の天文・宇宙文化教育の拠点とするべく、案内板やバス停留所の整備にあてる計画だ。(中田智香子)



花山天文台を訪れたブライアン・メイさん(左)(1月27日、山科区)

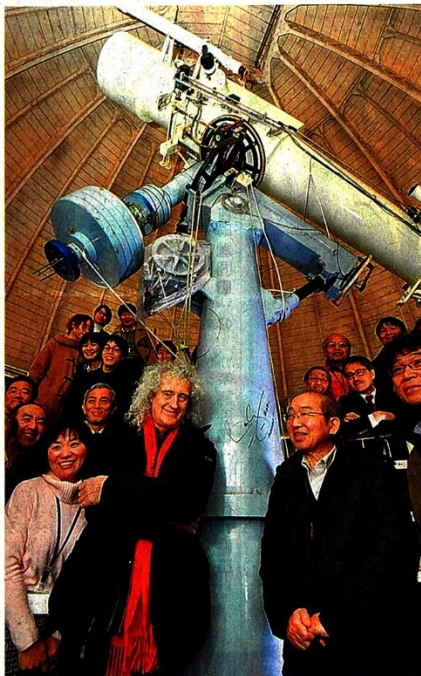
花山天文台は1929年に設立。火星や太陽の観測に研究に利用され、年間3000人が見学に訪れるなど市民にも親しまれてきたが、京大岡山天文台(岡山県浅口市)の新望遠鏡完成に伴い、京大が2018年度以降の花山天文台の運営費を削っていた。資金難に陥ったため、世界的な音楽家の喜多郎さんが支援コンサートを開いた。

今年1月には、前天文台長の柴田一成・京大名誉教授の呼びかけで、英国のロックバンドクイーンのアリソン・スタックハウスのギタリストで天体物理学者のブライアン・メイさん(中央)の博士号を持つブライアン・メイさん(左)の来訪も実現。口徑45センチの屈折望遠鏡にはサインが残されている。「花山天文台が目指すのは、英リニッジ天文台のような、あらゆる人が訪れやすい教育文化拠点」と柴田名誉教授。そのための施設整備にはさらに資金が必要といい、今年度からは土日の一般公開を始めて入場料などの収益を活用する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となっている。CFの目標額は300万円。10月27日まで、ホームページ(https://the-kyoto-engine.com/project/kyotoobservatoryakutenm)で募る。30000~12万円の寄付額に応じて、返礼品も用意。新型コロナで天文台に来られない間も楽しんでもらえるように、今回のために宇宙にまつわる絵本を制作したほか、オンライン講演会のチケットや、メイさんと天体の写真を使った絵はがきやクリアファイルなども選べる。

柴田名誉教授は「花山天文台の100年近い歴史を受け継ぎ、新しい使命を果たせるように、ぜひ協力してほしい」と呼びかけている。

宇宙文化財団 CFで寄付募る

花山天文台を未来に



サインした望遠鏡の前で記念撮影をするブライアン・メイさん(中央) —京都市山科区で1月、川平愛撮影

京都大付属花山天文台(京都市山科区)を支援する「花山宇宙文化財団」は、見学者を迎える展示や案内板、バス停留所などの整備に充てるため、クラウドファンディング(CF)で寄付を募っている。目標の300万円はすでに達成したが、10月27日まで受け付ける。1月には、世界的なロックバンド「クイーン」のギタリストで天体物理学者のブライアン・メイさんが訪れ、同天文台の存続を訴えていた。【福富智】

運営難案内板やバス停留整備に

同天文台は1929年(昭和4年)設立。太陽(昭)コロナの観測や、米寄付などに頼ってこの国のアポロ計画のた。今回のCFは、同天文台を次世代の天文・宇宙文化教育の拠点とするべく、案内板やバス停留所の整備にあてる計画だ。今年度は土日の一般公開を始めて入場料などの収益を活用する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となっている。CFの目標額は300万円。10月27日まで、ホームページ(https://the-kyoto-engine.com/project/kyotoobservatoryakutenm)で募る。30000~12万円の寄付額に応じて、返礼品も用意。新型コロナで天文台に来られない間も楽しんでもらえるように、今回のために宇宙にまつわる絵本を制作したほか、オンライン講演会のチケットや、メイさんと天体の写真を使った絵はがきやクリアファイルなども選べる。

万田。リターン(返礼)は、同天文台が宇宙の話が書かれ、大人も子ども楽しめる本「うちゅうばい」のイラストが描かれたクリアファイルなど。CFは専用サイト(https://the-kyoto-engine.com/project/kyotoobservatoryakutenm)で受け付けています。

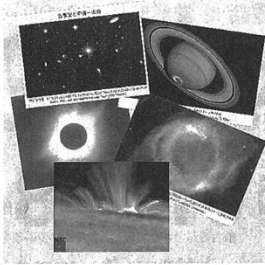
花山天文台を宇宙教育拠点に

バス整備備や展示案内板設置へ 財団がCFで寄付募る

太陽の観測で多大な業績を残しアマチュア天文学の発展にも貢献してきた京都大学理学研究科付属花山天文台(京都市山科区)を天文・宇宙文化教育の拠点にしようと、同天文台の存続に取り組み「花山宇宙文化財団」は28日に市民から寄付を募るクラウドファンディング(CF)を始め。目標額は300万円で交通アクセスの向上などに生かしたいとい



クラウドファンディングの返礼品のクリアファイル(左)とポストカード(右)



(左)おれも京都大提供

い、10月27日まで受け付ける。計画では山頂にある同天文台を訪れる人のためバスの停留所などを整備し、天文台の建物や展示物についての案内板を作る。ほかに京大の飛騨(岐阜県高山市)、岡山(岡山県浅口市) 西天文台での市民向け活動に役立てるとい

金額に応じ返礼品 クリアファイルやポストカード

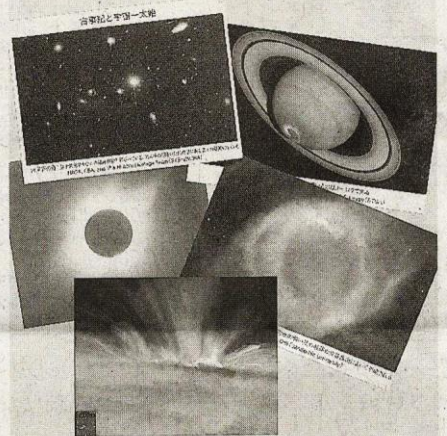
講演会のチケットなど12種類を用意した。同天文台では2020年度から土日曜に一般公開して収益を天文台の維持に役立てる計画だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実現できていない。CFの受け付けは文化情報メディア・サービス「THE KYOTO」のサイトから。同財団理事の柴田一成京大名誉教授は「超新星についての記録が残る藤原定家の『明月記』など京都と天体観測のつながりは古くからあり、花山天文台もその歴史を受け継いできた。CFを通じて今まで以上に多くの方に知ってもらい、次世代に残すために協力してもらえればうれし」と話している。同天文台は1929年開設。近年は老朽化や国立大の予算削減、京大に別の天文台ができたことで従来通りの活動が難しくなった。19年に香川県のメーカーが10年間で1億円の寄付を表明したが、それ以降の存続のめどは立っていない。

(山田修裕)

2020年8月6日 朝日新聞

設備維持へ CF活用

京大・花山天文台



返礼品の絵はがき 京都大提供

「残す協力してほしい」

京都大の花山天文台(山科区)は、設備を維持し、一般見学向けの展示を整備するため、クラウドファンディング(CF)で寄付を募っている。前天文台長の柴田一成名誉教授は「歴史ある天文台を残すのにぜひ、協力してほしい」と呼びかけている。同天文台は1929年設立。太陽や火星の観測を中心に、京大の学生、大学院生の実習などに使われている。だが、京大は2018年に岡山県に新しい天文台を開設したため、花山天文

台の運営費はなくなった。柴田さんらは花山天文台の維持費用をまかなうため、4月から有料で一般公開を始める予定だったが、新型コロナウイルスの影響で延期。CFを活用して一般見学の環境を充実させ、公開につなげたい考えだ。寄付は1口3千円〜12万円。金額ごとにオリジナルの絵本や絵はがき、クリアファイルなどの返礼品がある。CFサイト「THE KYOTO」(<https://the-kyoto.jp>)。 (野中長祐)

存続模索中 コロナ禍直撃

花山天文台発信 ピンチを好機に

存続が危ぶまれている京都大理学研究所付属花山天文台(京都市山科区)の魅力を市民に発信しようと、同天文台が支援者らが新型コロナウイルス感染拡大の中で試行錯誤している。感染対策をした上、14日(一般公開を14日に始める)が、天文台の歴史や宇宙科学の面白さを伝える動画をインターネットで配信する。「存続には市民の協力が必要。3密(密閉、密集、密接)を避けながらできる限り「ピンチ」を好機と呼び掛けている。

同天文台は1959年の開設

で、太陽観測やマチュア天文学の発展に功績がある。しかし老朽化や国土の予震削減、別の天文台の開設で従来の活動が難しくなっている。企業からの寄付は2019年3月までは存続できるが、その後のめりは立っていないという。

市民の協力を得るための取り組みを加速せざるを得ない。4月から毎週末に実施してきた一般公開を延期するも、活動の縮小を余儀なくされた。秋になって京大入の構制限が緩和されたこともあり、14日曜

「クイーン」メイさん手形披露 恒例の宇宙落語はネット中継

☆
☆



14日から一般公開が始まる京都大の花山天文台(京都市山科区)でクイーン・メイさんが残した手形。一般公開では隣近で見ることが出来る柴田さん提供

の一般公開をスタートすることにした。事前申請制にして来場者を制限し、毎週は公開しないなどの対策をする。1月に天文台を訪れた荒川タクバハンドクイーン」のギタリストと天体物

理学者のフライアン・メイさんが残したサインや手形も披露する。

毎年開く世界的シンセサイザー奏者・豊多郎さんらの野外コンサートが中止になったことか

「今こそ世界にPR」

ら、代わりに豊多郎さんの演奏や「銀河鉄道009」で知られる漫画家松本零士さんのメッセージなどをまとめた動画をオンラインチケットサービス「イープレス」を通じて11月末まで配信する。恒例の「京大宇宙落語会」は例年、左京区の京大キャンパスを会場にしていたが、今年は天文台の望遠鏡前から11日午後3時半にオンラインで中継する。

天文台存続のために活動する花山宇宙文化財団理事で京大名誉教授の柴田一成さん(69)は「活動縮小は残念だが、オンラインなら世界に発信することもできるピンチをチャンスにし、花山天文台を広く知ってほしい」と話。詳細や申し込みは京大理学研究所付属天文台や京大宇宙落語会のホームページから。いずれも参加協力費などは必要。

(山田修裕)

星をみつめて 京大花山天文台から

本紙連載をまとめた書籍「星をみつめて 京大花山天文台から」(花山宇宙文化財団編) 写真見本表紙を刊行、21日から書店や京都新聞販売所などで販売します。

本書はアマチュア天文学の聖地と呼ばれる京大花山天文台にまつる文豪内、京都新聞1面の連載(2019年5月・20年4月)を加筆修正しました。天文に関する歴史から最新研究まで、わかりやすく簡潔に解説した入門書として最適です。

花山天文台は戦前の創設直後から市民向けの普及啓発を積極的に行い、一般公開時には多くの愛好家が集

本書では同天文台の功績を紹介するとともに、藤原定家が記録した超新星が天文学史に光を当て、歴史好きにも楽しめる内容となっています。

執筆には冷泉貴美子さん、竹宮恵子さん、土井隆雄さんも連携し、読み応えある一冊となっています。

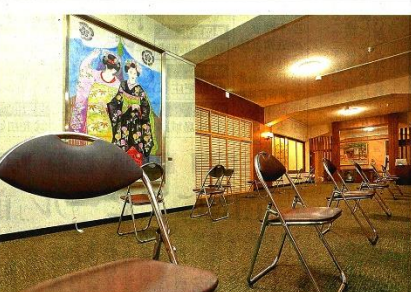
A5判、206p、定価1,870円(税別)。

京都新聞出版センター

21日から発売

京都新聞社などが運営する文化のプラットフォーム「THE KYOTO」は昨年6月のサービス開始からこれまでに、8件のクラウドファンディング(CF)を手がけた。文化や歴史を守り、地域の課題を解決しようとする試みに多くの共感が集まり、すべてのプロジェクトで目標金額を達成した。「THE KYOTO」では資金調達後の活動も記事として配信している。

「THE KYOTO」クラウドファンディング(CF)



(右から反時計回りに)新型コロナウイルスのPCR検査が行われたキオクコーナー。費用の一部にはCFの支援金が充てられた。撮影・安達雅文

VC Fの支援金を使って設置された花山天文台の案内板。撮影・安達雅文

VC F終了後の昨年11月、冷泉家から北の大蔵の上棟式が行われたVC Fを実施した11有斐堂弘遠館で秋開かれた京菓子屋

アマ天文聖地 未来へ

本誌の観望会を主催する花山天文台の発展に貢献したいという思いから、昨年1月に天文愛好者からなる「アマ天文研究科」を立ち上げた。天文・宇宙文化の拠点として、同天文台の魅力を伝える。

存続取り組む「花山宇宙文化財団」が中心となり、アマ天文の発展に貢献したいという思いから、昨年1月に天文愛好者からなる「アマ天文研究科」を立ち上げた。天文・宇宙文化の拠点として、同天文台の魅力を伝える。

「アマ天文研究科」は、天文・宇宙文化の拠点として、同天文台の魅力を伝える。

京菓子の魅力伝える

江戸時代の学びの場、寛政の文化を伝える。京菓子屋の魅力を伝える。京菓子屋の魅力を伝える。京菓子屋の魅力を伝える。

京菓子屋の魅力を伝える。京菓子屋の魅力を伝える。京菓子屋の魅力を伝える。京菓子屋の魅力を伝える。

京の花街文化を支援

新型コロナウイルスの感染拡大で、京の花街文化を支援。京の花街文化を支援。京の花街文化を支援。京の花街文化を支援。

京の花街文化を支援。京の花街文化を支援。京の花街文化を支援。京の花街文化を支援。

アートスペース新設

京都でアートホテルを手掛けた「クマガスク」が、コロナ禍を克服するため、新たな展開としてアートスペース「Kumagusuku SAS」をオープンさせることになった。「ものをつくる」をテーマに、家、ショップ、スタジオ(工房)が一軒になった居住一体型の小さなスペースを目指す挑戦へ、支援を募った。

祇園祭ちまき全国へ

2020年の祇園祭は新型コロナウイルスの感染防止のため、山鉦巡行と宵山行事の多くが中止となった。祇園祭山鉦連合会は、疫病退散の願いを込めたちまきを全国に届け、支援金を募る伝統文化継承に生かすプロジェクトに取り組んだ。支援者には連合会特製のちまきが贈られた。

京響発の情報後押し

新型コロナウイルスの感染拡大で、京響発の情報後押し。京響発の情報後押し。京響発の情報後押し。京響発の情報後押し。

京響発の情報後押し。京響発の情報後押し。京響発の情報後押し。京響発の情報後押し。

2021年(令和3年)2月10日 水曜日 地域プラス 22

地域プラス

「THE KYOTO」は文化財の活用や、新しい取り組みを応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。

THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。

未来創る一員に

案件	集まった金額(円)	目標(円)	支援数
冷泉家に新しい土蔵を	12,889,500	3,500,000	1062
アートスペース新設	2,134,000	2,000,000	171
祇園祭のちまき届けたい	3,709,000	1,000,000	924
京の花街文化を守る	13,790,000	10,000,000	606
アマ天文聖地 未来へ	6,227,000	3,000,000	769
京菓子の魅力伝える	3,434,000	1,500,000	291
京風の京籠を応援	5,937,000	5,000,000	511
新作能「内宮」上演へ	10,123,000	9,350,000	468

「THE KYOTO」は文化財の活用や、新しい取り組みを応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。

THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。THE KYOTOの取組を応援する。

「沖宮」6月上演決定

作家の故石牟礼道子さんが原作を手がけ、福岡の人間国宝の志村ふくみさんが衣裳監修した新作能「沖宮」を今年6月に改めて上演するため、支援を募るCFが行われている。

新作能「沖宮」公演実行委員会が3月未だで実施する。開始から6日間で目標金額の935万円に到達し、6月12日午後3時と6時から、京都市上京区の金剛閣楽堂での上演が決定した。返礼品として、公演のライブ視聴権や特製シルクマスクなどを用意している。

CPに関する問い合わせはメールで「THE KYOTO」事務局 (info@the.kyoto.)へ。